

事業所における自己評価結果(公表)

別紙3

公表：令和 5年 2月 15日

事業所名 発達支援ルームしどれ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	児の特性などに応じて1時間の利用人数を配分している	
	②	職員の配置数は適切である	11	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	0	玄関・別室・トイレ等に段差がないこと、玄関が滑りやすい為、張り紙をしている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0	定期的な清掃・療育前後の消毒をしている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10	1		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	年に一回行っている	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	利用時に必ず目につく所に掲示している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	5	重要事項説明書に行っていない旨を記載している	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	社内では、事業所研修・全体勉強会の機会を設け、社外での学会・研修に参加しやすい環境を整えている	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1	必要に応じて標準化された評価用紙を使用し、支援の一助としている	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	3	家族・地域支援に関して支援内容を設定していない(1時間の個別療育の為)	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	3	支援の質を向上させるために話し合っている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1		

⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8	2	基本個別療育だが、保護者のニーズによって集団遊びを提供する時間もある
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	2	活動内容・2人体制で対応する際にどのような配慮が必要か話し合っている
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	2	反省点・子どもの様子を振り返り、スタッフ間で今後の支援について話し合い今後の療育について考えている
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	1	定期的に普段の生活・園の様子を聴取し、支援計画の作成に活かしている。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	主担当が参加するようにしているが、児を把握するために、幅広く参加するようにしている
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	5	必要に応じて情報共有を行う事はある
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	5	必要に応じて行っている
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	4	必要に応じて行っている
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	1	必要に応じて行っている
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	1	必要に応じて行っている
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2	
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	3	
㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	8	
㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	療育後のFBや保護者・本人の様子に合わせ、話し合いをする時間を設けている
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	3	
㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	契約時や必要に応じて見学時に説明している
㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	FBの際、必要に応じて行っている
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	4	就学相談会を毎年実施している
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	月に一度の社内新聞や活動のチラシの配布、ホームページ・snsの運営を行っている
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	4	利用者様のご兄弟も参加できるデイキャンプ・農業体験の機会を設けている
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	2	感染症対策(対応)を勉強会にて行ったり、書類を職員ルームにて保管している。緊急時のヘルメット・非常食を常備している。保護者への周知は不十分かもしれない。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	2	救命講習を行っている
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	0	児童表・現状表を作成し、定期的に確認している
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	11	おやつを提供はないが、食物アレルギーの有無を児童表・現況表で把握している
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	社内の他事業所のヒヤリハットも含め、事業所内で情報共有している
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	0	虐待防止研修を行っている
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11	0	支援計画書ではなく、契約書に記載している

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 5年 2月 15日

事業所名 発達支援ルームしどれ 保護者等数(児童数) 47 回収数 15 割合 31.8%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	1	活動スペースは走り回って身体を動かせるだけの十分なスペースがある	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	1	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	1	0	0	清潔に保たれていると思うが、匂いが気になることがあった	消毒液の変更 小まめな換気
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14	1	0	0	定期的に保護者とヒヤリングしてくれる	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	0	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	0	1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1	0	1	子どもが飽きない様に工夫されている	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	2	7	並行通園の為、必要ない	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14	0	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8	2	1	3	機会があったら教えて欲しい。行っているかもしれないが、利用したことがないので分からない。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	0	0	0	月に一度の利用の為、難しいと思う	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2	0	2	活動後に内容について説明してもらっている	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	5	4	ぜひあれば教えてほしい	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	8	1	0	3		

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1	0	3		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	1	0	1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	0	0	1		
非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	1	0	6		
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	2	0	8		
満足度	㉓	子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0	0	小さな頃から一番好きな事業所のよう。「早く行きたいという程、楽しみにしている。	
	㉔	事業所の支援に満足しているか	12	0	0	0	可能であれば通所の機会を増やせると嬉しい	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。